

# 特別委員会委員長報告

6月定例会における特別委員会からの報告を掲載します

## 行財政改革推進特別委員会

### 放課後児童クラブの指定管理について

「本市には8つの児童クラブがあり、それぞれの運営委員会に委託している。開設時間、休所日等は、保護者の意向により決めている。定員は施設の規模を考慮して、受け入れ可能な最大の児童数となっている」との説明を受け、質疑を行った。

「本市は指定管理だが、県下の他の自治体の現状は」に対し「本市のみである」と答弁。「児童クラブの運営状況のチェックは」に対し「決算書、翌年度の計画書、また、月々の収支報告、人数報告等により行っている」と答弁。「賃金体系の統一性がなくては」に対し「基準ラインがあることから、そこまでは指示していない」と答弁。

委員からは「指定管理による運営を存続するのであれば、自治体の介入を強めていくべきである。公募も視野に入れ検討を」との意見が出された。

### 香美市観光協会の現状について

「27年度の事業収益は1千万円程度の赤字予想である。これにより指定管理を受けている、べふ峡温泉施設の改修を実施した。事務所を『香美市いんふおめーしょん』から駅前角地に移転する」との説明を受け、質疑を行った。

「新たな観光戦略等は」に対し「企画面に注力し、旅行業免許の取得を目指している」と答弁。

「移転する事務所での物販は」に対し「移転先は狭く、改修もしくは新築の必要がある。特産品を手にとって見て、買える場所を設けることは、市の大きな課題であると考えている」と答弁。

委員会からは「本市の観光をアピールする企画に注力を、また、指定管理料を含め今後の展開を見守る」との意見を述べた。

## 定住人口増加促進特別委員会

### 定住推進課の業務内容と今後の展望について

定住班の所管する、移住定住対策事業、集落活動センター事業、ものづくり事業、婚活事業実施の方向性について、また、まちづくり班の所管する姉妹都市交流、市営バス、ふるさと納税等に関連し、全般的な説明を受け、質疑・意見交換等を行った。

連携して移住促進に力をつけていきたい」との説明を受け、質疑・意見交換等を行った。

### 提言の回答内容について

提言書にある「農業者であることを条件に」の部分には「農業者となることを条件に」と読み替えた上で、旧の農業委員会での協議の一端として、農業経営を守り、図る上で最低限必要だと思われる下限面積についての考え方や、地域で必要な共同活動でのミスマッチが起こる懸念、1町でも農業者として認められた場合、農業者としての特別な権利を与えることとなり、慎重な判断が必要となる等々の説明を受け、質疑・意見交換等を行った。

### 空き家調査の進捗状況とデータ活用方針について

「28年度は、地域情報未調査地区の調査と再度の全戸調査、また、既存空き家の状態のランクの見直し等を行う。また、データを元に空き家バンクへの登録物件を増やし、移住促進に活用していきたい。空き家数等の数値データは関係機関と共有し、

